

青梅市 自治会・支会活動事例集

平成30年度版



編集・発行 青梅市・青梅市自治会連合会

自治会・支会事例集の発行にあたって

青梅市内には、平成30年度現在11の支会、170の自治会があり、それぞれの地域特性にあったさまざまな活動を展開しています。

魅力ある自治会・支会活動を事例集としてまとめ、活発に取り組まれている自治会活動を広く市民の皆さんにお知らせすることとしました。

各自治会の活動内容や、地域の安心・安全のための防災活動などを掲載していますので、自治会活動の参考にご活用ください。

青梅市・青梅市自治会連合会



自治会・支会活動事例集 目次

| | |
|---|----|
| 「第1支会 裏宿町」 裏宿町1丁目自治会・裏宿町2丁目自治会（第1支会） | 1 |
| 「町内活性化への試み」 天ヶ瀬町自治会（第1支会） | 2 |
| 「第1支会 大柳町自治会」 大柳町自治会（第1支会） | 3 |
| 「第2支会「防災マップ」作成」 第2支会 | 4 |
| 「駒木町連合自治会」 駒木町連合自治会（第2支会） | 5 |
| 「新しい自治会活動について」 野上第2自治会（第3支会） | 6 |
| 「野上第三自治会活動の紹介」 野上第三自治会（第3支会） | 7 |
| 「下郷の三匹獅子舞」 梅郷1・2丁目連合自治会（第4支会） | 8 |
| 「ハリキル！初の女性体育部長」 梅郷3・4・5丁目連合自治会（第4支会） | 9 |
| 「多摩川一万人清掃大会への参加とバーベキュー大会」 二俣尾四丁目自治会（第5支会） | 10 |
| 「美しい自然環境保護と不法投棄の防止のために」 二俣尾5丁目第1自治会（第5支会） | 11 |
| 「地域貢献」 御岳山自治会（第5支会） | 12 |
| 「富岡町内の環境美化活動（美化デーと乙黒耕地桜下草刈り）」 富岡1丁目自治会・富岡2丁目自治会・富岡3丁目第1自治会 （第6支会） | 13 |
| 「ナイトハイク」 黒沢地区6自治会（第6支会） | 14 |
| 「「蛭を見る夕べ」について」 成木2丁目自治会（第7支会） | 15 |

| | |
|---|----|
| 「根ヶ布自治会」 | |
| 根ヶ布自治会（第8支会） | 16 |
| 「第1回目 無事ですタオル 実施率50%」 | |
| 師岡町1丁目自治会（第8支会） | 17 |
| 「新町一丁目自主防災訓練と防災の集い」 | |
| 新町1丁目自治会（第9支会） | 18 |
| 「夏休み子供学習教室（7年を迎えました。）」 | |
| 末広町二丁目自治会（第9支会） | 19 |
| 「河辺北自治会の発足」 | |
| 河辺北自治会（第10支会） | 20 |
| 「マンションの自治会活動」 | |
| ライオンズガーデン河辺自治会（第10支会） | 21 |
| 「“ご近所お助け会”で共助の輪を広げよう！」 | |
| 藤橋自治会連合会（第11支会） | 22 |
| 「自治会防災活動と救急救命」 | |
| 今井原今井自治会（第11支会） | 23 |
| 《参考》 | |
| 青梅市自治会連合会自治会加入促進マニュアル | 24 |
| このマニュアルは、自治会ハンドブックにも掲載しています。 | |
| 東京都「地域の底力発展事業助成」 | 26 |
| 今回の活動事例集の中でも、この助成を受けた事業が掲載されています。是非ご活用ください。 | |

第 1 支会 裏 宿 町

◇裏宿町 1 丁目自治会

◇裏宿町 2 丁目自治会

裏宿町文化祭の開催

裏宿町自治会では、毎年 1 1 月に町内相互の親睦をより一層深めると共に、裏宿町の文化の発展と高揚を図るために、町内の文化祭を開催しています。

町内の方が作った作品や、家にあるお宝などを出品して頂くのと、毎回テーマを決め企画展を開催しています。文化祭実行委員会の委員が企画展のテーマに沿った調査を行い、冊子を作成しています。

また、ご来場いただいた方には、作成した冊子をお渡ししています。

初日には、齋藤慎一先生（元青梅市文化財保護審議会会長）を講師に迎え、当町に関係するテーマで特別講演会を実施しています。

都立多摩高校文化祭に参加

町内には、都立多摩高校があります。

毎年 9 月に開催される多摩高文化祭に、町内の展示コーナーを頂き、町内の紹介をしています。

また、町内の囃子保存会（囃子連）が多摩高文化祭の開会式で生徒全員や先生に、一般公開日には、来場者の方に囃子の演奏を聞いて頂き、お祭りの楽しさを紹介しています。

都立多摩高校との連携活動

5 月の青梅大祭には、校長先生はじめ先生方にご協力を頂き、大勢の生徒さん達に山車を曳いていただいて、青梅大祭を楽しんで頂いています。

また、多摩高の防災訓練には、自治会・裏宿梅園会（老人会）の方が参加して、生徒さん達と一緒に避難訓練などを行い、多摩高に備蓄されているアルファ米の試食などを行っています。

第1支会 天ヶ瀬町自治会

町内活性化への試み

自治会 会長 山下 裕

私が自治会長を担当する前から天ヶ瀬町は年配者の会の「楽寿会」が色々と自治会館を使って活動しておりました。災害時のためにと大型のテレビが入り、チップインマイクでのカラオケも入っておりました。

そうこうしているうちに、会館の音響アンプが壊れ、楽寿会に限らず、若手の団体が自治会館を利用するにも支障が出てきました。

仕方なく自治会館に音響設備を入れられることとなりましたが、どうせ入れるなら大手カラオケ会社のリース機の機材を選択、色々と反対もされましたが、老人向け健康体操のコンテンツやら、忘年会などで盛り上がるビンゴゲーム、通信カラオケのため曲目は何でもあり、歌い手の歌唱力も採点されたりで、反対していた方々も今では喜んで使っているようです。毎月の資源回収の報奨金でリース料は賄えており、自治会費を支払いに充てることはありません。

結果として、カラオケを定期的に利用するサークル(50代～80代)の会が3団体あり、なかでも「天ヶ瀬サロン」として活動する皆さんはカラオケは元より、踊りなども取り入れて毎週火曜日の昼下がりに活動しています。家の中に居てあまり外出されなかったご年配の方も参加して頂いているようです。独居老人対策等にもなるかと感じております。

また、資金源の資源回収の参加率ですが、カラオケ機を利用しているメンバーは参加せざるを得なくなりました。それまでは40名程しか参加が無かったものが、毎回60～70名の参加を見るようになりましたが、これは資源回収の報奨金が分配される町内の主要3団体で、月毎に責任担当月制を取ったため(回収車両の借り受けから全てを用意する)それぞれが他の団体への配慮をして協力するため横の繋がりも良くなったと思います。

今後も自治会館を活用して町内の活性化を促進いたします。皆さんが参加しやすい自治会にするのは、なかなか難しいことですが、まずは出られない方に声掛けからでしょうか。

第1支会 大柳町自治会

自治会長 清水 隆司 世帯数 247世帯 役員15名 組長25名

大柳町は隣近所の繋がり、笑顔あふれる明るいまちづくりをスローガンに取り組んでいます。

大柳町には自治会・柳寿会・共和会・子供会・今年度より発足した大柳町八坂神社保存会と5つの各種団体で活動しています。

年度初めには5団体の三役が集まり、情報交換の場として懇談会を開催しています。

今年の共和会は囃子連70周年、歯元30周年にあたり、記念行事を計画している報告がありました。記念行事では山車を町内引きしたいとのことで、自治会と共和会で青梅警察署と協議し町内引きの許可を得て、9月16日に記念行事で町内引きを行いました。



町内引きの様子



青梅警察署長も挨拶に来て頂きました

大柳町では毎年一回自治会主催で研修会を行っています。

昨年は防犯対策として、青梅生涯学習まちづくり出前講座で『振り込め詐欺被害を防止するために』というテーマで、青梅警察署生活安全課に講師を依頼し、10月末に開催しました。

今年は大型台風や地震が多く発生し各地で甚大な被害が発生した事もあり、昨年と同様に青梅生涯学習まちづくり出前講座で『青梅市の防災対策～自助・共助・公助』というテーマで、青梅市役所の防災課に講師を依頼し、11月4日に釜の淵市民館で開催しました。



研修会の様子



研修会の様子

第二支会「防災マップ」作成

第二支会は、駒木町、上長淵、下長淵、友田町、千ヶ瀬町地区に合計25の自治会があります。その25の自治会は、前途の5地区に分かれそれぞれ連合自治会を組んで各種の活動をしております。防災訓練も同様に9月から12月の間に各連合で実施しておりますので、支会全体の防災訓練は、重複になると考慮し実施しておりません。

しかしながら、支会全体として何か防災事業を展開することが必要であるとの思いから、平成29年度において第二支会全25自治会の地域における一時避難場所や避難所、消火栓および緊急連絡先等を掲載した防災マップを作る事といたしました。各自治会において、地図に消火栓、消防器具箱およびAED等の所在場所を確認しながら地図を作成いたしました。

完成した防災マップは、平成30年3月4日に開催された防災講演会において説明配布いたしました。平素よりこのようなマップを常備することで防災意識の向上が図られると考えます。マップの表は、第二支会独自の防災マップ、裏は、青梅市のハザードマップとなっております。

なお、この防災マップは、青梅市自治会連合会のHPからダウンロードできますので御活用ください。



この事業は、東京都地域の底力発展事業助成により実施しました。

駒木町連合自治会

駒木町連合自治会長 高橋 正

駒木町連合自治会は、青梅駅より南側約 700m の多摩川を渡った所に位置し、総面積約 190 ha、人口 1838 人、総世帯数 800 軒。1 丁目から 3 丁目の会員 533 軒により構成され、専門部及び協力団体合わせ 20 団体と理事会で、防災・防犯活動、環境・美化活動、健康づくり・学習活動、親睦活動など様々な活動をしております。

では、今回はその一部「駒木町地域防災訓練」の様様をご紹介します。

訓練の様様

【多摩地方を震源とする「震度 6 弱」の直下型地震が発生し青梅市全域に被害が発生。

駒木町地区においても複数の火災救助事象が発生し、ライフラインにも甚大な被害が生じた。】

上記を想定し、駒木町防災訓練を開始しました。

当日の朝、町内を駒木町消防団が巡回し訓練開始を市民に周知。

各家庭では家族の安否確認、火などの始末を行い、近隣及び避難行動要支援者の安否確認を行い次々と駒木町三丁目運動広場の避難場所に到着。

避難場所に設営された災害対策本部に各自治体単位で、住民の安否及び避難状況報告がなされた。

その後は、初期消火・放水訓練、煙体験、応急救護訓練など長淵消防署、駒木町消防団の指導により行った。

〔 避難場所風景 〕



〔 訓練の様様 〕



初期消火訓練



応急救護訓練



放水訓練

女性防火防災の会の方々が主体となり、駒木町女性部の応援で炊出訓練も実施しました。

寸胴 2 個にお湯を沸かし、アルファ化米とインスタント味噌汁にお湯を入れ 100 人分の炊出しをしました。

・・・今回は 100 食でしたが、これが町民の約 1800 人分だと大変な労力だと感じました。・・・

〔 炊出訓練の様様 〕



・・・・・・・・駒木町連合自治会便り・・・・・・・・

第3支会 野上第2自治会

新しい自治会活動について

自治会長 池田公男 世帯数 152世帯

野上第2自治会は、平成29年度に役員の改選があり、私も新任の自治会長を仰せつかりました。その際、他の役員をお願いする中で、体育部長をお願いに上がった際、「地域の皆さんの健康について助力出来たら」と、いう事で、体育部長をお願いしました。

その健康についての助力活動とは、**血管年齢と骨密度の測定**です。

測定を行うことにより、コンピューターがはじき出した、ご自身の体の状態を知って頂き、また、色々なコメントが出ますので、日常生活の参考にして頂けたらと思います。

測定会場は、自治会主催の**夕涼み会、ファミリーゴルフ大会**会場で行いました。

子供から大人、ご年配の方々が集まる催しで実施しております。

初めての時は、興味本位、おもしろ半分で測定に参加されていましたが、会が進むにつれ、測定される方も増えて来ました。

ふるさと祭りの体力測定コーナーでも行っております。



人差し指を測定器に差し込み測定中(血管年齢測定)

野上第三自治会活動の紹介

野上第三自治会

野上第三自治会は青梅街道を挟んで、野上3丁目と野上4丁目の会員で構成されています。大門地区では比較的新しい住宅地として開発されました。そのため、分譲住宅や集合住宅への他地域からの転入者が多い特徴があります。

○自治会会員数 220世帯（平成30年度 加入率約12%）

○活動の紹介

今回は、野上第三自治会のイベント等で出店する「たこ焼き」を紹介します。

「たこ焼き」の担当は、毎年、自治会の「新緑祭り」「夏祭り」のイベントの時に、長年のベテランとその年の組長さんに担っていただきます。当然、初めて「たこ焼き」を焼く方々も多く、最初は恐々取り組んでいますが、ベテラン勢の指導もあり、徐々に旨く焼けるようになります。焼いている時は立ちっぱなしで、鉄板からの熱気もあり結構大変な経験ですが、焼き終わった時は、皆さん充実した顔になっています。

また、市役所で開催の「お〜ちゃんフェスタ」や今寺グランドでの「フードフェスティバル」、大門市民センターでの「ふるさと祭り」にも、野上第三自治会員の他の有志にもご協力いただき、毎回10名以上で参加しています。

○他の自治会同様、自治会への加入者の減少、会員の高齢化を原因とした退会者の増加等自治会運営は益々厳しい状況ですが、自治会の行事で行う「たこ焼き」、「焼きそば」、「ポップコーン」、「かき氷」等の催し物の経験を通じて、自治会員の交流を深め、地域の安心・安全に繋げていきたいと思えます。



野上第三自治会

会長 和山 満雄

第4支会 梅郷1・2丁目連合自治会

下郷の三匹獅子舞

連合自治会長 原島 昌男

梅郷1・2丁目地区は梅郷で一番小さい自治会ですが、近年は住宅が数多く新築され、所帯も多くなっています。自治会の新規加入の勧誘を積極的に行って行きたいと思っております。

今回は下郷のお祭りを紹介いたします。

下郷のお祭りは他の梅郷地区と違い山車や神輿はなく、現在は三匹獅子舞を中心にしたお祭りになっています。神社は3神社あり、三社祭典として行っています。下郷祭典委員会主催により、自治会役員中心として祭典を行っています。

昔は3神社と三匹獅子舞との結びつきは無かったが、後に三社祭典で演じるようになりました。

三匹獅子舞は今から180年前疫病除けに舞ったのが始まりと言われています。

舞うのは、小学生の棒使い4名、花笠4名を含め獅子、笛、唄い手の約20人前後で演じております。

祭典では三匹獅子舞を演じた後、3神社及び各家を廻って、家の中に入り悪魔払いを行っています。



(各家への飛込み)

下郷のお祭りだけでなく、10月の下山八幡神社例大祭、3月の観梅市民まつりにも演じています。昭和44年に青梅市無形文化財（市伎芸）に指定され、文化財という面からも、保存しております。一度ご覧いただければと存じます。

今後も獅子舞を通して地域の親睦を図り、コミュニケーションを深めることが出来ればと思っています。

(三匹獅子舞)



ハリキル！初の女性体育部長

梅郷三丁目自治会長 西村 孝芳

梅郷3丁目には 会長・副会長と共に会務を執行する幹事が6名います。幹事は隣組・体育・祭典の3つの係を各2名ずつが担当しております。従来も女性の幹事さんは多数いましたが、新年度になり初めて女性体育担当が誕生しました。自治会の体育担当幹事は梅郷地区体育振興会の体育部長を兼ね、各種体育行事の企画・進行、又 選手を集めてのチーム編成、練習などを取りまとめています。今回の二人は中学時代のなかよし同級生で、ハリキッテいます。

これまでの感想と これからの意気込みを聞きました。

男性の中で初の女性と言うことで「大変ですね」と、言われますが本人達はさほど自覚していません。自治会の中の1つの役割として仕事をしています。会議のある日は少しバタバタします。仕事から帰り夕食の支度・小2の娘の宿題等のチェック。翌日の準備をさせ、場合によれば娘も会議に参加させています。娘は自治会が好きなようです。

例年通り！慣例だから！に、とらわれず、今後の自治会に参加しやすくするためにも生意気ではありますが、改善すべきところは提案し、検討できるようにしたいと思います。体育部長なので スポーツにかかわる仕事です。いい機会なので、自分の健康と体力向上を心がけたいと思います

福田 洋子さん



10月7日(日曜日)に、1年の最大のイベント！市民運動会が終わりホッとしているところです。初の女性体育部長と言うことですが 都合よい事、よくない事もあります。しかし、他地区の体育部長さん達に助けをもらいながら 割と楽しくやらせてもらっています。3丁目の会長・副会長にはいつも言いたい放題で 二人を困らせているかもしれません。何よりも一緒に体育部長となった福田さんには だいぶ感謝です。仕事の8割？・・・いや9割？はしっかりやってくれていますので、ありがとうございます。来年も引き続きやらせていただきますが、なにせ主婦もやりながらですので、自治会に関わる全ての皆様・・・無理なく頑張ることもしませんが、どうぞよろしくをお願いします。

松尾 実和さん



高齢化が進む自治会。そして 体育行事の選手招集も難しくなっている現在 女性の目を見た体育行事の進め方、又、自治会のあり方にも一石を投じてくれるのではないかと 期待しています。

男性体育部長と共に運動会進行！

右から二人目 後姿の福田さん

三人目 正面の松尾さん



第五支会 二俣尾四丁目自治会

多摩川一万人清掃大会への参加とバーベキュー大会

毎年8月初旬に多摩川一万人清掃大会が行われ、多摩川に沿う第五支会の一自治会として参加しています。当日は御岳の本会場に行く人と自治会管内で清掃を行う人に分かれて活動し、自治会管内では、美化デー活動ではやりきれない場所の草取り、草刈や清掃を行っています。

この活動は11時頃には終了するので、続いて、自治会館近くにある「武蔵野市民の森自然体験館」の施設をお借りして、平成27年から毎年バーベキュー大会を実施してきました。今年で4回目となり、参加者は例年と同様88世帯中25世帯の約30名でした。年齢制限はなく会費は一人1000円、中学生以下の子供及び80歳以上の人は無料としています。また、子供達にはスイカ割りなど楽しめるよう工夫もしています。日頃、それぞれの生活で忙しく、同じ地域にいながら互いにあまり話をしていない人たちが集い、趣味の話、生活上の話、自治会活動の話など自由におしゃべりし、楽しい一時を過ごしています。



食べ物の準備



楽しい語らい



子供達によるスイカ割り

美しい自然環境保護と不法投棄の防止のために

二俣尾5丁目第1自治会は、平溝川流域に位置し高水山の入山コースとして、多くのガイドブックに紹介されている風光明媚な地域です。

その私たちの大切な里山も、数年来不法投棄が散見される状況にあります。

この貴重な自然環境保護のため、不法投棄防止とパトロールを兼ねた美化活動を、毎年5月と12月に年2回実施しております。



不法投棄が・・・



ロープとカゴで引上げ



収集



分別



作業を終え廃棄場へ

長年の活動の成果により、年々不法投棄は減ってきておりますが不法投棄とゴミのポイ捨てゼロを目指しこれからも活動を継続してまいります。

地域貢献

第5支会 御岳山自治会 会長 久保田英明

この地域は青梅市御岳山の山上に位置し、約130人全36戸が自治会員として暮らし、武蔵御嶽神社を中心に年間約50万人が訪れる観光地として、ほとんどの人が山上で仕事をしています。

山頂にある神社の標高は929mとあまり高くなく、奥に広がる山々も千m弱で、登山初心者でも登れる山として親しまれています。

御岳山からは、七代の滝・綾広の滝を含むロックガーデン（奥御岳景園地）、大塚山などのハイキングコースや、奥多摩・古里・五日市養沢・吉野など、多方面へのコースが有ります。

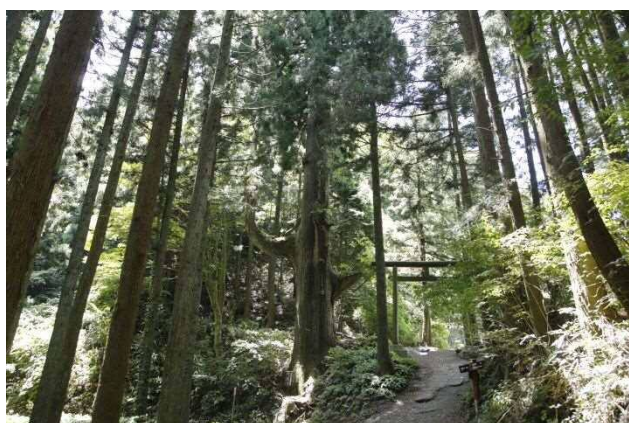
毎年7月初めに1戸1人又御岳登山鉄道(株)で3名が参加し、8時30分より16時頃まで、山上・大岳・奥の院鍋割山・高岩山・ロックガーデン・大塚山・氷川道・日の出山養沢の各コースに分かれ、道刈りが行われます。道刈りとは登山者や観光客が支障なく歩ける様に、道の整備や両側の草木を刈り払う事です。

各々がノコギリ・ナタ・カマ・刈り払い機等を持寄り、手弁当の無償奉仕として長時間行われていますが、皆さん自分の庭を手入れする事のように、一生懸命奉仕されています。夕刻からは慰労会を含めた自治会総会が行われます。

これが観光を主な仕事として生活する、御岳山自治会の最大事業です。

又、御岳山観光協会でも景観整備の為、山上各地の下草刈が2日間行われています。

地域の皆さんは「観光客をお迎えする」という意識が高く、普段から自宅近辺の清掃や草取りなどをされ、訪れた人々が気持ちよく、過ごし帰られる様心がけている事に、感謝申し上げます。



富岡町内の環境美化活動 {美化デーと乙黒耕地桜下草刈り}

富岡地区の1丁目、2丁目、3丁目第一の3自治会は富岡自治協議会を組織し、町内の活動を協力して行っています。

1 美化デーによる環境美化活動

自分たちの地区の環境は自分たちで守るとの考えで、環境美化活動の一環として毎月第2日曜日に美化デーを実施しています。

各自治会ごとに地域をいくつかに分けて道路や運動広場等の清掃、ごみの収集、除草等を行っています。また、同時に自治会館内の清掃と会館周辺の清掃、除草等も行っています。

美化デーは町内の環境美化をすることも第一ですが、会員同士の世間話の中から親睦も図られています。

また、この活動をすることにより、ポイ捨て、不法投棄等もなくなっています。

美化デー終了後は自治会館でミーティングを行い、町内の情報、連絡等を取り合っています。

2 乙黒耕地桜下草刈による環境美化

成木川沿いの乙黒耕地には平成14年に市制50周年を記念して、桜の苗が植えられ、富岡自治協議会で管理しています。

この桜並木の周辺の土地は、非常に雑草が生え成長しやすく、その群生が環境美化を阻害し、桜の花の美しさにも影響しています。

それで6月と9月に乙黒耕地の桜下刈りを実施し、周辺の土地の環境美化を行っています。

毎回40数名の会員が参加し、刈り払い機・鎌で汗を流し、取り組んでいます。これにより桜の苗も順調に育成し、毎年春には美しい桜の花を咲かせて見事な桜並木になり、富岡地区の住民を喜ばせています。



ナイトハイク

第6支会 黒沢地区6自治会(372世帯)

主担当自治会 黒沢3丁目第2自治会

黒沢地区の6つの自治会(黒沢1～3丁目)では、青少年対策黒沢支部として毎年恒例の「ナイトハイク」を行っています。今年も、記録的な猛暑の夏、夕方からは涼しくなったとはいえ熱中症も心配される中、8月5日の夜実施しました。参加者は、子供25人、実行委員を含む大人21人の計46人でした。

この黒沢地区のナイトハイクは、地区内の6つの自治会が毎年持ち回りで担当し、6自治会の子供会役員、中学校地区委員、自治会役員をメンバーとする実行委員会を組織して行っており、黒沢地区が一体となった活動となっています。

ナイトハイクのコースは、黒沢2-2自治会館をスタートし、柳川交差点を經由して龍雲寺交差点で折り返す往復約2kmを歩き、ゴールの黒沢2-2自治会館を目指します。今年も、子供達の安全を第一に考え、コースはすべて歩道を歩けること、また道路横断は信号機のある横断歩道を渡れる小曾木街道沿いで実施しました。要所要所には、各自治会長が立ち安全監視をするとともに、黒沢駐在さんの協力も得て子供達の安全には万全を期しました。



途中6つのチェックポイントには、それぞれ文字を配置してあり、ゴール後、確認した6つの文字を並べ替えて一つの言葉にします。また数カ所に配置した「なぞなぞ」を解きながらゴールを目指します。

当日は、実行委員の大人は午後5時に集合し、ポップコーン・かき氷・焼きそばの準備を始めました。主役の子供達は午後7時に集合した後、グループ分けを行い7時15分には第一陣がスタート。その後数分置きに各グループがスタートして最後のグループも午後8時にはゴールしてナイトハイクが終了。

その後、実行委員会で用意したポップコーン・かき氷・焼きそばを振る舞われ、参加賞のお菓子を食べながらの楽しい歓談のひと時を過ごしました。

子供達は、午後8時40分には解散の予定でしたが、ゴール後解散までの時間が短かったせいか、友達との話が弾む中なかなか帰らず、結局大人と同じ午後9時に解散となりました。

今年も、皆様のご協力のお蔭で事故も無く無事終了。子供達だけでなく大人も一緒に楽しんだ笑顔あふれるナイトハイクとなりました。

第7支会 成木2丁目自治会

「蛍を見る夕べ」について

夏の風物詩として多くの人に親しまれているひとつとして「蛍」が存在します。

蛍は、人家周辺に生息し、そこに生活する人々と共存してきました。しかし、今の現実には田んぼの減少、農薬の散布等で減少の一途をたどっています。そこで、青梅市や地元自治会などの協力により平成6年から成木6丁目（滝成）で「蛍を見る夕べ」を開催しておりましたが、来場者の安全確保、駐車場等の問題で平成9年から成木2丁目（大多磨霊園入口滝坂橋周辺）での開催となりました。

今では、地元の人のもとより、遠くは埼玉（浦和）、都内からも一夜の幻想を楽しみに多くの人々が訪れ、一大イベントになっております。また、地元有志による「ジャガイモ」「野菜」等の販売もして好評を博しております。

会場周辺の様子



根ヶ布自治会

第八支会

根ヶ布自治会長 石井 稔

根ヶ布には、古刹の曹洞宗天寧寺および由緒ある延喜式内虎柏神社（お諏訪様）があり、その周辺には緑が多く残り自然にも触れあえる地域となっています。

自治会の現状は、多くの自治会と同様に、加入率が年々低下してきていることが課題となっています。課題はあるにしても自治会員の団結は非常に強く、自治会事業には多くの自治会員の協力があり、第八支会の各種スポーツイベントなどは、優秀な成績を収めています。

それでは自治会の主な事業などを簡単に紹介します。

◎自治会役員を選出

自治会役員（会長・副会長2名・会計）は、2年ごとに改選されます。

☆選出方法（選挙方式） 自治会内26組の隣組が、会長候補1名・会計候補1名を推薦します。この推薦された者に対し、自治会加入世帯が各1票を投じて、役員を選出いたします。過去から運営されてきています。

※推薦できない者：役員終了後、会長経験者は20年、副会長・会計経験者は10年を経過するまで

※辞退できる者：75歳以上の者。病気のため診断書が提出された者。

◎主な事業

☆納涼カラオケ大会 7月に行われる自治会最大のイベントです。申込者および各種団体から推薦された者が、真夏の夜に多くの会員の前で、自慢の歌声を披露します。

このイベントには、自治会役員、白寿会（老人会）、子供会、神社、ソフトボール愛好会、ビーチボール愛好会などが一致団結して、準備から後片付けまで行います。

☆虎柏神社大祭への参加 虎柏神社（お諏訪様）の大祭は、8月26日～28日の3日間行われる大祭です。自治会では、毎年度の総会で、自治会挙げて協力を行う了承を受けています。

○お殿入祭 26日夜間に行われる神事で、周辺の灯りをすべて消して、提灯2灯の先導で、神官が神歌を歌いながら、関係者が列を組んで本殿の周りを3周して、神々を迎い入れる神事です。

珍しい神事ですので、多くの方々の参拝をお待ちしております。



○27日 例大祭 **○28日 奉納相撲**



☆環境対策 ①美化デーとして年3回、地域の川・周辺の清掃を実施

②毎月自治会、子供会、ソフトボール愛好会による資源回収の実施 ほか

☆第八支会事業への参加 市民運動会をはじめとするスポーツ事業、防災訓練、ふれあいフェスティバルなどに参加

根ヶ布自治会を簡単に紹介しました。これからも自治会の発展や住み良い地域となるため団結していきます。根ヶ布自治会をよろしく。

第1回目 無事ですタオル

実施率50%

師岡町1丁目無事ですタオル100%の会 発足

霞川上流の流域でもある師岡城の前の東青梅6丁目、師岡町は、過去には暴れ川として有名で、地層的にも青梅市内で一番新しい地層です。歴史的に大きな災害はありませんでしたが、近年の大雨や首都直下型地震等を勘案すると、防災対策を考慮せざるを得ません。また、高齢化率も高く、これまで避難するような災害を経験してこなかったことから防災意識向上、避難状況の一助に！と、“無事タオル”運動を計画し、9月2日支会の合同防災訓練の日に、第1回“無事タオル”を師岡町1丁目自治会で実施しました。

”無事タオル”訓練の目的は、災害時の避難の時に、無事に避難したことをご近所や救援者等に知らせるために、玄関、郵便受け等の見やすい場所にタオルをかけるという習慣を持ってもらうための訓練です。

そして、”同 100%の会”は、自治会とはゆるく属し、名簿、個人情報等に直接関与しない方針で、最低10年続けて、習慣化と100%の参加を目指す会です。

実際に大災害に遭遇した場合、玄関や郵便受けにタオルを掲げて下さい。避難する場合でも無事ならタオル掲げて下さい。忘れたと、再度家に戻らないで下さい

第1回目の結果：自治会加入率約70%の200戸ほどで、

全戸回って写真を撮った結果、100戸が実施

- 無事ですと書いたタオルの方
- きちんと縛った方
- わざわざ棒を取り付けて掲げた方
- 遠くからも見える場所
- もしかして干してるやつ？
- 色々なカラー、模様タオル

目標：運動を10年続ける。参加100% 非自治会員の参加

補足：被災の際は、掲げてないと、ドアをけ破ってでも入ります（修理はしません）

行方不明の場合は、名前を公表します。 と、しています



画：当日の風景（一部）

「平成30年度東京都地域の底力発展事業助成」対象事業

新町一丁目自治会では、平成27年度以降毎年自主防災訓練を実施しています。

今年度は『新町一丁目自主防災訓練と防災の集い』として、11月18日（日）に開催いたしました。天候にもめぐまれ多くの方々にご参加いただき、訓練を終えることができましたことは、企画運営に携わったスタッフ全員の協力の証かと存じます。

1. 無事旗掲示と安否確認訓練

18日午前9時に震度5弱の地震があったと想定し、会員の各世帯が「無事です!」という黄色の『無事旗』を玄関先等に掲示し、これを自主防災委員と隣組長が巡回して、自治会本部と無線で連絡をとり、会員世帯の安否確認訓練を実施しました。



2. 炊き出し訓練

午前10時に訓練参加者が自治会館に集合し、災害救助用炊飯袋（ハイゼックス袋）による炊飯訓練を実施しました



炊き上げ作業



ソーセージと温野菜

災害救助用炊飯袋の使用方法(1/2合炊き)
米75g、水150mlを袋に詰め、袋の空気を抜いて、輪ゴムで閉じ、約30分のボイルでご飯が炊けます。

ポリ袋を使用した調理方法

ソーセージと洋風野菜ミックス、コンソメ小さじ1杯をポリ袋に入れ、10分ほどボイルするだけ!

3. 救助救出訓練

午前11時より自治会館に隣接する鈴法寺公園にて、青梅市消防団第3分団第1部の協力のもと、落下物で下敷になった人の救助方法や搬送方法の訓練、さらに救命訓練も実施しました。



4. 防災の集い

午前12時より自治会館にて、「災害への一番の備えは、ご近所どうしの絆が大切!」ということで、炊き上がったご飯とレトルトカレー、ポリ袋を使って調理したフランクソーセージを食べながら、参加された地域の皆様が相互に親睦を深めました。

<炊き出し訓練のポイント>

今回の炊き出しは、すべての調理がボイルするだけ、お湯は何度も使用することができ、鍋を洗う必要もありません。貴重な水を節約することができ、すべての料理が個別調理で衛生的です。

災害救助用炊飯袋による炊飯は、ご飯を炊くだけでなく、水と一緒に焼き鳥缶の中身を入れれば鶏釜飯に、松茸のお吸い物の粉末を入れると松茸ご飯?にと、アレンジ豊富です。

また、ポリ袋による調理方法は、いろいろな食材を調理することができ、調理次第では、肉じゃが、サバみそ、豚汁、善哉などアレンジが豊富です。油を使わずヘルシーで塩分控えめの調理ができます。食べるときに袋の端を丸めると食器の代わりにもなり、余計な洗い物がなくなります。

夏休み子供学習教室(7年を迎えました。)

自治会長 工藤泰男 会員数 63世帯

末広町二丁目自治会は、青梅市の東南のはずれで羽村市に隣接する地に在ります。

私達は、平成23年3月11日の東日本大震災を機に自治会活動を「自主防災」に方向転換し、同年6月5日に末広町二丁目に住居する全世帯に防災対応の必要性を訴え「安心で安全な居住空間の継続した維持」のため『自主防災委員会』を設立しました。

(当時の自治会加入世帯数58戸、町内総世帯数約360戸)

平行して、地域に住まわれている子供さんたちのために何が出来るかを考えてきました。

翌、平成24年に、小中学校の夏休み期間中は自治会館を「子供たちの自習の場」として開放することに取り組み、スタートしました。

最初は会員家族の子供さんだけの参加でしたが、その後は会員以外の子供さんの参加が多くなりました。

(少し残念です。現在の総世帯数が約450戸になりますが、会員数の増加に繋がりません。)

自治会館の使用実施と経費負担については、自治会員各位の理解と協力を得、また必ず開催時間帯には自治会役員が立ち会うことで一部の役員の尽力を頂き現在に至っております。

近年の参加状況の推移。

| 年 | 開催日数(日) | 延参加数(人) |
|-----|---------|---------|
| H27 | 28 | 160 |
| H28 | 29 | 194 |
| H29 | 29 | 197 |
| H30 | 29 | 294 |

8:30~11:30の3時間を2回の休憩を挟んで、涼しい環境で、子供さんたちが「同じ空間と同じ場所を共有」することにより、将来的な自治会の発展に繋がれることを期待したいと思います。

近年では、最終日に一か月の学習成果を発表する子供さんも出てきました。

嬉しいことは、出会い時に挨拶が増えてきたことです。

他の行事参加にも、子供さんへの声掛けに意識して取り組んでおり、多くの参加をいただいております。が、なかなか、会員数の増加に繋がりません。じみちに進んでいこう!

自治会からのお知らせ

末広町『夏休み学習教室』のご案内

今年も、末広町にお住いの小学生・中学生のお子様を対象に夏休み期間『末広町会館』を学習教室として開放いたします。夏休みの宿題を中心に、毎日少しづつ勉強しませんか!?

(期 間) 平成30年7月23日(月)~8月24日(金)
 (時 間) 午前8:30~11:30(3時間)
 (場 所) 末広町会館・洋室

| 【日程表】 | | | | | | | | | | | | ○印が実施日です。 | |
|-------|---|---|----|----|---|-----|---|---|-----|---|---|-----------|--|
| 7月 | | | | 8月 | | | | | | | | | |
| 23日 | 月 | ○ | 1日 | 水 | ○ | 10日 | 金 | ○ | 19日 | 日 | × | | |
| 24日 | 火 | ○ | 2日 | 木 | ○ | 11日 | 土 | ○ | 20日 | 月 | ○ | | |
| 25日 | 水 | ○ | 3日 | 金 | ○ | 12日 | 日 | × | 21日 | 火 | ○ | | |
| 26日 | 木 | ○ | 4日 | 土 | ○ | 13日 | 月 | ○ | 22日 | 水 | ○ | | |
| 27日 | 金 | ○ | 5日 | 日 | × | 14日 | 火 | ○ | 23日 | 木 | ○ | | |
| 28日 | 土 | ○ | 6日 | 月 | ○ | 15日 | 水 | ○ | 24日 | 金 | ○ | | |
| 29日 | 日 | × | 7日 | 火 | ○ | 16日 | 木 | ○ | | | | | |
| 30日 | 月 | ○ | 8日 | 水 | ○ | 17日 | 金 | ○ | | | | | |
| 31日 | 火 | ○ | 9日 | 木 | ○ | 18日 | 土 | ○ | | | | | |

- * 自治会から、役員が必ず立ち合い学習させます。
- * 塾ではありません。自主学習が中心になります。
- * 参加は自由で、参加費も無料です。
- * 飲物の準備は各自でお願い致します。
- * 末広町会館には子供用スリッパは用意しておりません。必要な方は持参下さい。
- * 同時時間帯に、和室にて会員のサークル活動が実施される日があります。ご迷惑にならないようお願いします。
- * 事故発生時の自治会員家族以外の方の自治会連合会保険の適応が出来ません。ご了承下さい。
- * 学習教室以外の部屋の使用は出来ません。ご注意ください!
- * 不明な点は下記までお問合せ下さい。

2018.7.吉日
 連絡先:末広町二丁目自治会
 会長 工藤 泰男
 Tel. 0428-31-8484・080-2029-2022

河辺北自治会の発足

河辺町9丁目、10丁目自治会の合併

第十支会 河辺北自治会

河辺北自治会は文字通り JR 河辺駅の北側、ペDESTリアンデッキや市立図書館、また多くの商業施設のある地域で活動しています。

もともと両自治会は、自治会館を共用し、長年に渡って盆踊りも合同実施、十支会運動会でも同一チームを組んでおり、いわば兄弟のような自治会として長年協力し合ってきました。このような状況から、合併に関しては以前より一部役員間で話し合われていました。会員数や役員の成り手の減少、世代交代も難しい状況となっていました。両者とも何とか維持できていたため合併は実現していませんでした。

平成 27 年度末に、10 丁目より 9 丁目に対し、これら課題の解決策として合併を前提とした協議の提案があり、平成 28 年度初から検討することとし、両自治会が 5 人ずつを出し合って合併委員会を立ち上げました。当初は両者の意見が噛み合わない場面もありましたが、1 年後の合併を

目標に活動を始め、計 10 回の委員会で進め方、規約、スケジュール、総会議案書等の検討を進めました。丁寧な進め方が重要と考え、アンケートの実施、委員会議事録の適宜の回覧を行い、結果として会員の皆様の理解を得ることができ、平成 28 年 3 月中旬に 9 丁目、10 丁目の総会において合併が承認されました。4 月 8 日に第 1 回河辺北自治会総会を開催し、正式に発足の運びとなりました。その後の活動も以前と同様順調に進んでいます。

今年は悲願?であった運動会用の T シャツを新調し、その甲斐あってか総合順位を一つ上げました。



第 17 回河辺北夏祭り・盆踊り大会(2018/7/21)



青梅市総合防災訓練(2018/8/26)



第 38 回第十支会市民運動会(2018/10/7)

マンションの自治会活動

にしたに まさよし
ライオンズガーデン河辺自治会 西谷 政美

ライオンズガーデン河辺は、平成4年秋竣工し同年12月入居を開始した全70戸から成るマンションです。マンション区分所有者（各室のオーナー）で構成される管理組合と自治会の構成や役員割り振り他諸問題があったにもかかわらず、中心となった方々のご苦勞により管理組合に続いて平成5年自治会の発足となりました。

発足当時の体制は

1. 自治会は居住者全世帯で構成する。（賃貸入居者は管理組合員ではないが自治会員となる）
2. 会費は管理費（または賃貸料）とともに徴収する。（全入居者が会費を自動的に収め自治会員となる）
3. 役員は階単位でグループ化して輪番制を採用する。
4. 役員の任期は2年とし、1年は管理組合理事を兼務する。（そのため役割は1年毎に変わる）

ほとんど見ず知らずの人たちが「一つ屋根の下」ある種「長屋」での団体生活をするようになるため、最初に企画されたのが顔合わせを兼ねたバーベキュー大会。多摩川河原に集い参加者の自己紹介が食事以外の最重要イベントでした。また当時は小学生以下の子供が多く、子供向けスイカ割も行われました。夏は子供達の楽しみ七夕。飾り付けを作って持ち寄り、近隣の方から分けてもらった竹に吊るして玄関前に立てました。秋には第一期役員の東北出身の方の提案で、芋煮会が企画実施されました。当初趣味の会として起こった園芸サークルを自治会組織に取り込み、マンション周囲の美化に尽力してもらっています。

このようにして、当自治会も発足から早四半世紀経過しました。バーベキューと芋煮会は当初河原で開催していましたが、台風による流路の変化や天候への不安もあり現在は河辺南自治会館に会場を移しています。また芋煮会は一時期臼と杵を借用しての餅つき大会（1回目は『社協だより』に写真掲載）に変わりましたが、臼と杵の河辺小寄贈を機に元の芋煮会に戻し、女性役員・会員の大活躍の場になりました。

花のおもてなし
by 園芸サークル



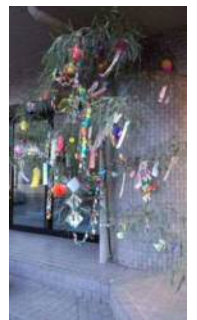
バーベキュー 愛情で美味しく焼いてネ



芋煮会 女性陣腕の見せ所 締めは うどんで



七夕
願いを込めて
飾り付け



ただ年数が経つにつれ、次のような問題点が浮上しました。

- ① 各階のオーナー居住者数が違うため、階によってはすぐ次の番に当たるなど役員担当回数に差がある。
- ② 自治会役員と管理組合理事との兼務は負担が大きい。
- ③ 当自治会のみ自治会長任期が1年の為、任期2年の他の自治会と足並みが揃わず交流が深まらない。

そこで、自治会役員と管理組合理事ともに任期2年とし、両方兼務することのないよう輪番制のセットを組み直し加えて賃貸入居者にも自治会役員を担当してもらうなど不公平感が生まれにくい工夫をしています。

現在抱えている課題は自治会行事の参加率向上です。防災などと考えると行事を通じての自治会員間の交流も重要と思っていますが、どうしたら参加する気になるか／させるか、効果的な具体策はまだ浮かんでいません。

“ご近所お助け会”で共助の輪を広げよう！

第11支会 藤橋自治会連合会
連合副会長(第2自治会長) 湊 勲男

藤橋に「東北県人会」という飲んべえの会が存在します。これは、東日本大震災を契機に、「東北地方各県の復興のために何かできることはないか」との思いを持つ者が月に一度自治会館に集まり、東北の物産をつまみに東北の酒を飲むことで、少しでも被災地の産業復興に寄与したいと考える会です。

この東北県人会である日、「地域にお年寄りのお一人世帯やお年寄りだけ世帯が増えているが、互助会のような組織で助け合いをしたい」という提案がありました。

この提案を受けて藤橋第二自治会で役員会を開いたところ全員一致の賛同を得られ、その会の名前を“藤橋ご近所お助け会”としました。そして、回覧で賛同者を募ったところ、11名の方から16件のお助け項目が集まりました。(下表参照)

| 『藤橋“ご近所お助け会”』会員名簿 | | | | | | 2016年11月1日 現在 |
|-------------------|------|--------|------|--------------------------|------------------------------------|-----------------|
| No | 分類 | お名前 | 組 | 連絡先 | お助け内容 | 料金 |
| 1 | 介護予防 | 湊 勲男 | 2B-2 | 31-xxxx 090-xxxx-xxxx | 梅っこ体操、介護予防体操の指導 | 無料 |
| 2 | 買い物 | 斎藤 順逸 | 5B-1 | 31-xxxx 090-xxxx-xxxx | 車での送迎(買い物など) ※時間がかかる場合は終わるころに迎えに行く | ガソリン代のみ(100円程度) |
| 3 | 買い物 | 田野倉 純男 | 5B-2 | 31-xxxx 090-xxxx-xxxx | 車での送迎(買い物など) ※時間がかかる場合は終わるころに迎えに行く | ガソリン代のみ(100円程度) |
| 4 | 買い物 | 津田 敬夫 | 7B-2 | 31-xxxx 090-xxxx-xxxx | 車での送迎(買い物など) ※時間がかかる場合は終わるころに迎えに行く | ガソリン代のみ(100円程度) |
| 5 | 雑事 | 小林 千代子 | 4B-1 | 31-xxxx | 家の中の掃除、洗濯もののお手伝い | 無料 |
| 6 | 雑事 | 長橋 博也 | 5B-1 | 31-xxxx 090-xxxx-xxxx | 庭仕事、雑事 | 無料 |
| 7 | 趣味 | 湊 勲男 | 2B-2 | 31-xxxx 090-xxxx-xxxx | マンドリン・アンサンブルのボランティア演奏と習いたい方へのアドバイス | 無料 |
| 8 | 相談 | 大西 英治 | 1B-1 | 31-xxxx 090-xxxx-xxxx | 単身世帯者の諸事相談 | 無料 |
| 9 | 大工仕事 | 原島 亨 | 1B-3 | 090-xxxx-xxxx | 簡単な大工仕事 | 材料費のみ |
| 10 | 調理 | 大西 英治 | 1B-1 | 31-xxxx 090-xxxx-xxxx | 酒を旨く飲む男の手料理指南 | 材料費のみ |
| 11 | 調理 | 吉川 五二 | 1B-4 | 31-xxxx | 魚の捌き方の指導 | 材料費のみ |
| 12 | 調理 | 吉川 五二 | 1B-4 | 31-xxxx | 包丁砥ぎ | 100~150円/1本 |
| 13 | 電気仕事 | 志田 和吉 | 1B-1 | 31-xxxx | 電気まわりの雑仕事 | 材料費のみ |
| 14 | 庭仕事 | 小林 千代子 | 4B-1 | 31-xxxx | 花の手入れ(草むしり、庭掃除など) | 無料 |
| 15 | 庭仕事 | 長橋 博也 | 5B-1 | 31-xxxx 090-xxxx-xxxx | 庭仕事、雑事 | 無料 |
| 16 | 保育 | 斎藤 孝枝 | 5B-1 | 31-xxxx | 子供の保育、他 | 応談 |

事務局：湊 勲男 31-6429

そして、この会員名簿を各世帯に配布し、2016年11月に“藤橋ご近所お助け会”がスタートしました。「電球の交換」や「簡単な大工仕事」、「庭の草取り」や「包丁砥ぎ」、「買い物の送迎」など、生活に密着する仕事を実費だけでお手伝いするわけですから、希望者が殺到すると思いきや、これがなかなか活発になってくれません。“無料”だと、かえって遠慮があるのかもしれない。

そこで親切の押し売りではないですが、“お助け会”側から働きかけてみました。今年3月18日(日)には青梅マンドリンクラブによる「藤橋“ご近所お助け会”マンドリンコンサート」を開催しました。



また、自治会の集会や長寿会の集まりで使用する「八雲会館」は畳部屋なのですが、会員の津田さんがいろいろな高さの椅子を作ってくれました。膝をつけない人、胡坐をかけない人など、畳に直に座ることが困難な人にとっても重宝されています。(右図は津田さんが作った椅子)

更に、藤よしさんが日々受け付けているお助け項目なのですが、5月25日(金)を「包丁砥ぎの日」に定めて募集したところ、この日だけで20本近い包丁を研が集まり、多くの方にプロが砥いだ包丁の切れ味を堪能していただくことができました。

まだまだ活発な活動とは言えないのですが、高齢化が進む中であって“ご近所お助け会”のような共助の輪は、ますます必要性が高まると思われるので、工夫を重ねながら焦らずに活動の定着を図って行きたいと考えているところです。



自治会防災活動と救急救命

今井原今井自治会長 若林正樹

昭和 13 年 4 月 15 日は、今井原今井自治会にとっては決して忘れてはならない日があります。当時はのどかな農村地域で、どの家々も夕方の準備が始まる頃だったそうです。

当日は、西から強い風が吹き、強風にあおられた火の粉が麦わら屋根に次々と燃え広がって、現在の今井二丁目交差点付近から霞川沿いへと火災が延焼し入間市との県境金子橋まで被災し、多くの住民が住宅や家財道具・そして家畜等も失うと言う困難を経験した地域です。その教訓を決して忘れてはならないと隔年ごとの 4 月には青梅消防署と今井消防団のご協力のもとに各種防災訓練を行っております。また、自治会の夏季総会に併せまして地域防災・安穏祈願の二百十日祭を自治会会員一丸となって行っております。

近年は、少子高齢社会に伴い隣近所の防災と高齢者への身体的な気配りをするうえで、平成 30 年度に AED 救急救命への理解と実際の初期訓練の体験を行いました。地域住民が協力をして安全に暮らせる社会になれるように活動しております。また、生活面においては、焼きそばや豚汁の炊き出し訓練も行い多くの参加者を得ております。過去に被災した経験のある地域であるだけに、

いざっ!! という時の備えとして真剣にこの体験が活かせるよう取り組んでおります。



子供会も参加 AED 体験



長寿会も参加 AED 体験



炊出しの食事体験



炊き出し訓練 豚汁作り

《参考》

このマニュアルは、自治会ハンドブックにも掲載しています。

青梅市自治会連合会自治会加入促進マニュアル

自治会の加入率が減少している状況の中で、加入の呼びかけ等加入促進活動を行っているものの、なかなか自治会の必要性を理解してもらえず、苦慮しているところです。加入を呼びかける訪問時の基本的マニュアルを作成しました。加入促進に向けて活用していただければ幸いです。

青梅市自治会連合会

1.自治会の役割、機能を再確認しましょう

自治会は、地域住民の親睦を図るとともに、地域の安全安心に取り組み、明るく住みよいまちづくりを住民の皆さんが協力して築いていくための団体です。

地域での人と人との

支え合い

「向こう三軒両隣」のつながり、必要なときに支え合う身近な顔が見える関係づくりの場



行事、レクリエーションなど

のイベント開催

祭りの開催や各種サークル活動などを通じて住民同士の交流を深め、より良い人間関係を構築する

安全、安心な地域づくり

街路灯の設置要望、点検、防犯パトロール、防災訓練などを通じた、安全、安心に生活できる環境づくり



地域の環境美化

ゴミ拾いや清掃などの美化活動を協力して行い生活環境の維持改善を図る



子どもや高齢者の

見守り

子どもや高齢者の見守り活動を通じて、地域住民がお互いに助け合い、安心して暮らせる環境づくり



地域資源の保護

伝承

伝統文化や自然などの資源を守り次世代につなぐなど魅力ある地域づくり

行政とのパイプ役

行政などからの情報の回覧や地域だけでは解決できない課題に対する、行政への相談窓口



2.訪問方法

自治会への加入を強制するのではなく一人ひとりの力が地域づくりを支える力となることを伝えることが重要です。加入の必要性を理解してもらい、自発的に加入してもらうことが望ましいです。

①訪問人数

2人～3人

②訪問時期

新規転入者の場合 居住開始後、間を置かず訪問

既居住者の場合 イベントなどの開催に合わせて訪問



《参考》

③訪問時間帯

相手の対応可能な時間帯を考慮しましょう（夜間は避ける、休日の午前中は避ける）

④訪問

初回 簡単な説明にとどめ加入を勧めます。加入を断られても、まず資料を受け取ってもらいましょう（5分程度で済ませるようにしましょう）

2回目以降訪問時 1週間程度時間を置き、改めて資料を持参し加入を促します。不在時は資料を郵便受けに投函し後日訪問するようにしましょう

⑤持っていくもの

挨拶状、加入促進パンフレット、イベント案内チラシ（年間行事予定、活動内容等）、管内地図等、その他必要と思われるもの

3.説明内容

1 自治会の必要性

連合会作成の「自治会加入のご案内」およびQ&Aの「自治会って何ですか？」等を参考に、自治会活動の必要性をしっかりと伝える。

2 活動の具体的な内容

行事（支会・連合会の行事もあわせて）
会費の状況・自治会の範囲・隣組の構成など



4.Q&A

あくまでも一般例なので、各自治会の活動状況に応じてご活用ください。

Q 自治会って何ですか？

A 環境が整備されて暮らしやすくなっていますが、それを支えているのが地域の自治会です。地域住民の親睦、連帯感を図るとともに、交通安全や防犯、消防団などの活動を支援し、自分たちの地域を住みよいまちにしていくための地域をつなぐ大切な組織です。



Q 自治会ってどんな活動をしているのですか？

A 会員相互の親睦を図りながら、環境美化、防犯のためのパトロール、街路灯の設置維持など、様々な活動を通じ、安全安心なより良い地域づくりを行っています。

Q 自治会において親睦活動を行うメリットは何ですか？

A 地域でのふれあいの機会が多くなれば、顔見知りが増え連帯感が高まり、防犯面の安全向上につながるほか、災害など緊急時に地域が一体となって対応できます。

Q 自治会に加入するとどんなメリットがありますか？

A 自治会は、加入者が自分たちの住む地域をより良くするために考え、力を出し合って活動している組織です。活動の結果、安全安心で住みよい地域となることが最大のメリットといえます。より良い地域づくりは多くの皆さんの参加により実現します。ぜひお力をお貸しください。

《参考》

今回の活動事例集の中でも、この助成を受けた事業が掲載されています。
是非ご活用ください。

東京都「地域の底力発展事業助成」

東京都は、地域活動の担い手である町会・自治会が主催して行う**地域の課題を解決するための取組(催し・活動等)**を支援するため、「地域の底力発展事業助成」を実施しています。

事業の概要(平成30年度)

1 対象団体

都内に所在する町会・自治会

2 対象事業

(A) 地域の課題解決のための取組

(B) (A)のうち、都が取り組む特定施策の推進につながる取組5区分

- 防災・節電活動 ●青少年健全育成活動 ●高齢者の見守り活動 ●防犯活動
- オリンピック・パラリンピック気運醸成活動

(オリンピック・パラリンピックへの理解促進、スポーツ普及啓発、国際交流など)

(C) 複数の単一町会・自治会が共同して実施する地域の課題解決のための取組

(D) 単一町会・自治会が他の地域団体と連携して実施する地域の課題解決のための取組

3 補助限度額

対象事業 (A) (B) 単一町会・自治会は20万円、地区連合町会は100万円

対象事業 (C) 単一町会・自治会(共同)50万円

対象事業 (D) 単一町会・自治会(連携)30万円



★事業の詳細はホームページをご覧ください★

http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/chiiki_tabunka/chiiki_katsudo/chiikiriyoku/

地域の底力

検索

*ホームページは検索エンジンから、「地域の底力」で検索してアクセスすることもできます。

《お問合せ先》

東京都 生活文化局 都民生活部 地域活動推進課 地域活動支援担当

電話：03-5388-3166 FAX：03-5388-1331

メールアドレス：S8000224@section.metro.tokyo.jp

お問い合わせは、市内の各市民センター、市民活動推進課でも受け付けております。

《お問合せ先》

青梅市 市民安全部 市民活動推進課 地域支援係

電話：0428-22-1111 内線 2322 FAX：0428-22-3508

青梅市自治会・支会活動事例集
(平成30年度版)

平成30年12月発行

編集・発行：青梅市・青梅市自治会連合会

問合せ：青梅市市民安全部市民活動推進課

〒198-8701 青梅市東青梅 1-11-1

TEL 0428-22-1111

FAX 0428-21-0542

青梅市 HP <http://www.city.ome.tokyo.jp>

メールアドレス：div0940@city.ome.tokyo.jp

青梅市自治会連合会 HP <http://www.ome-rengou.jp/>

